



千葉市立貝塚中学校 学校だより

校訓： 自主・創造・練磨

第16号
令和2年10月13日発行
千葉市立貝塚中学校
Tel231-7077

◆さあ、後半戦です◆ 後期始業式 校長講話より

校長 北島 啓行

いよいよ本日より後期がはじまります。秋休み3日間を有意義に過ごすことができましたか。こうして皆さんと顔を合わせることはとても嬉しく思います。暑さもひと段落して、やっと過ごしやすい季節となりました。元気よく一日一日を過ごしていきましょう。

さて、当面の皆さんの目標としての学校行事は、今月末の貝塚祭ですね。合唱は一人だけが頑張るのではなく、クラス全員の力を結束しなければ成り立ちません。この後、練習に熱が入り、また熱が入りすぎて学級内で衝突が起こることもあると思います。しかし、そうした苦勞を乗り越えて実感できる達成感が必ずあります。ぜひ、クラスで一致団結をして、悔いのない演奏や歌唱をお願いします。また、10月は暑くもなく、寒くもなく、気候的にもとても活動しやすい時期になります。学習、読書、部活、スポーツ、趣味など、何かに打ち込むにはとても良い時期です。何か一つ見つけて、取り組んでほしいと思います。

結びに、この後期を通して、皆さん一人一人が輝き、充実した学校生活になりますよう皆で手を取り合ってしっかりやっていきましょう。

◆各学年 後期に向けて代表生徒の話◆ 後期始業式代表生徒の話より

約4か月後に私立受験、約5か月後に公立受験を控えている私たち3年生にとって、後期は進路先の決定やそれに向けての準備や勉強をするなど、とても大切な時期となります。前期では、受験生になったという自覚をもち始め、授業評価はAをもらうことが多くなり、問題集などを各自もってきて、休み時間などに取り組んでいる人も多くなりました。しかし、まだまだ意識が足りていないところも多くあります。例えば、志望校に向けての家庭学習の時間は十分にとれていますか。また、たくさんとれていたとしても、自分のわかるところや好きな教科ばかりに偏っていませんか。定期テストや実力テストでは、間違えたところをしっかりと解き直し、受験勉強に役立てられていますか。まだまだできていない人も多いと思います。後期は、志望校合格のためには何をすればよいのか、どこを改善していけばよいのか、一人一人がもっとよく考え、それを実行できるようにしていきたいです。またそれに伴って生活面でも直していかなければならないところがあります。挨拶、返事です。廊下ですれ違った先生方への挨拶はできていたとしても、教室に入ってきた先生方への挨拶や呼びかけに対しての返事など、しっかりとできていますか。受験では、挨拶や返事はその人の第一印象を決める大切なことでもあります。今以上にもっと意識をさせていきたいです。何もなくても、受験日はきてしまいます。これからの期間を大切に、どのように過ごしていくのかしっかりと考え、有意義なものにしていきたいです。

<3学年代表 ○○ ○○>

2年生の後期の目標は、時間を見て行動することです。2年生の1番の課題は、これだと思うので、後期は時間を見て行動することを意識したいと思います。そのためには、授業前の10分休み、昼休みや友達と話をしているときでも細目に時計を見ることが大切です。そして、次の教室に移動する際は、授業開始2分前になっていることに気づいた人や学習委員などがクラスに呼びかけをしていきたいと思います。後期より、私たち2年生が貝塚中学校を引っ張っていく立場になるので、このことを一人一人の心にしっかりとどめて、後輩の良き手本になれるように努力していきます。来年には私たちが受験生になります。受験まで限られた時間を有意義に過ごすために、一日一日の時間の使い方にも気を付けていきたいと思います。

<2学年代表 ○○ ○○>

私が後期に頑張りたいことは2つあります。一つ目は周りを見て行動することです。私は前期、会長として色々なことに挑戦し、様々なことを知りました。周りに呼びかけながらお知らせをするとき、一人で36人をまとめようとすると大変難しく、かえって騒がしてしまうことが度々ありました。後期は一人で抱えこうもうとせず、周りの協力を得ながら行動したいです。二つ目はけじめをつけることです。私は前期会長としての自覚をもち、2分前着席の呼びかけや気持ちの切り替えをしてきたつもりでした。しかし、日が経つにつれ2分前着席をすることができず、しゃべってしまったり、切替ができなくなってしまいました。後期は最後まで気を抜かずに周りに胸を張って注意ができるように頑張りたいです。また、今年は新型コロナウイルスの影響で大きなイベントである校外学習がなくなってしまいました。しかし、そのような状況でも楽しめることを見つけ、今はそれぞれのクラスでレクを企画しています。あたり前のことがあたり前にできない時代を生きる私たちですが、それを残念と思って過ごすのではなく、その中の状況でどれほど楽しみを見つけられるかは自分次第です。中学校時代を振り返った時に、例年と違った楽しみもあったなと思えるよう、クラスや学年全体で協力して、後期も充実した中学校生活を送っていききたいです。

<1学年代表 ○○ ○○>

◆ある自動車ディーラーのポスターより◆

先日、私事ですが、車の点検でディーラーに行きました。作業を待っている間、店内に目をやると1枚のポスターが目飛び込んできました。私は技術科の教員ですので、非常に印象に残った言葉が並んでいました。

頑張っていれば、いつか報われる。持ちつづれば、夢はかなう。そんなのは幻想だ。たいてい、努力は報われない。たいてい、正義は勝てやしない。たいてい、夢はかなわない。そんなこと、現実の世の中ではよくあることだ。だけど、それがどうした？ スタートはそこからだ。技術開発は失敗が99%。新しいことをやれば、必ずしくじる。腹が立つ。だから、寝る時間、食う時間を惜しんで何度でもやる。さあ、昨日までの自分を超えろ。昨日までの●●●を超えろ。負けるもんか。

(●●●はその自動車メーカー名です)

このコロナ禍の中、また先が見えない中、様々な人が前を向き、頑張っていると思いました。これを読んだとき、なんだかちょっと勇気が湧いてきました。なかなか先が見えない世の中ですが、昨日までの自分を超えられるよう、頑張りたいものです。